

決済の未来フォーラム セキュリティトークン分科会

1. 国内における取組（SBI証券を中心に）
2. グローバルベースの取組（SBI DAHを中心に）
3. R3に関連する取組

2020年12月8日

SBIホールディングス 執行役員ブロックチェーン推進室長
SBI R3 Japan 代表取締役CEO
藤本 守

STO対象範囲および展開スケジュール

- 2020年5月に施行された金商法における「トークンに表示される有価証券」の取扱いを検討する。
 1. 既存の1項有価証券（株式、社債等） — **1号案件実施済、他案件検討中**
 2. 電子記録移転権利（集団投資スキーム持分等） — **案件検討中**
 3. 電子記録移転権利から除かれるもの（2項有価証券） — **案件検討中**
- 具体的には以下の順に実績を積み重ねていく予定。
 - ① 未上場株 — **10月30日にSBI e-Sportsの第三者割当増資を実施（次ページ）**
 - ② 自己募集社債 — **発行登録完了、条件決定後募集開始**
 - ③ 事業会社発行社債 — **第一種金商業の変更登録手続き中**
 - ④ その他（ファンド型） — **来期に向けて検討中**
- ST市場拡大を目指しデジタル有価証券のPTS設立検討を開始。

国内初となるSTOによる第三者割当増資

- 2020年10月30日にSBI e-SportsはSBIホールディングスを引受先として5000万円の第三者割当増資を実施
- 本STOの基盤を提供したBoostrы社にはSBIグループが10%資本参加済。



STOによる第三者割当増資の実施について

投稿日: 2020年10月30日

SBI e-Sports株式会社（代表取締役社長：小谷 雅俊、以下「SBI e-Sports」）は、SBIホールディングス株式会社（代表取締役社長：北尾 吉孝）を引受先とした国内初となるセキュリティ・トークン・オファリング（Security Token Offering、以下「STO」(*)）による第三者割当増資により、5千万円の資金調達を実施いたしましたので、お知らせいたします。

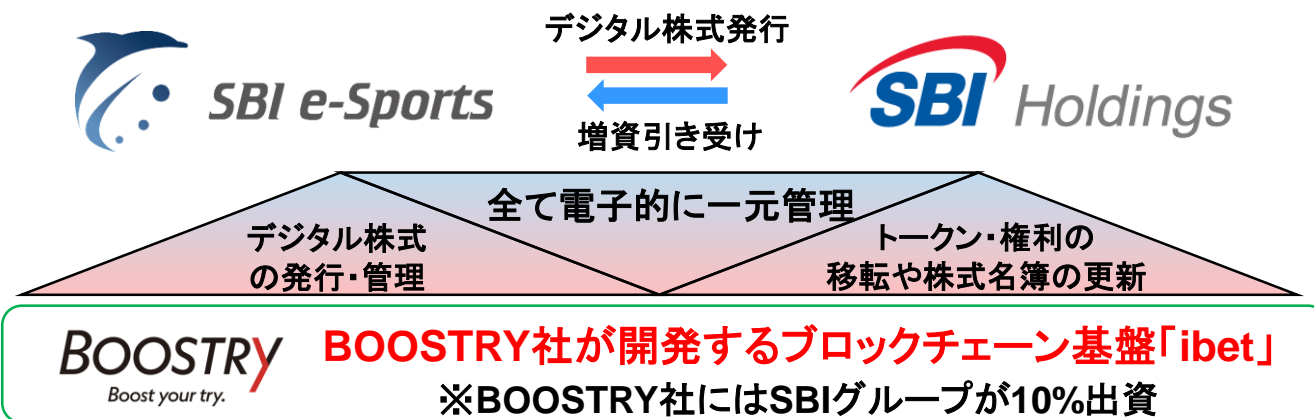
(*)STOとは、発行体が従来の株式や社債等に代わり、ブロックチェーン等の電子的手段を用いて発行する有価証券等である「セキュリティ・トークン」により資金を調達するスキームです。

・第三者割当増資の目的

当社は、2020年6月の設立以来、eスポーツ分野における事業に取り組み、プロフェッショナルeスポーツチーム「SBI e-Sports」の設立等を行ってまいりました。

現在、近年のデジタル技術の進歩に加え、直近の新型コロナウイルス感染症を契機として、企業や人々を取り巻く環境は大きく変化しており、社会全体のデジタルトランスフォーメーション(DX)を一層加速する流れも生じております。

その中にあり、デジタル技術と親和性を有しデジタル世代に親しまれるeスポーツの、新たな文化としての健全な育成、将来的なeスポーツを通じた地域経済の活性化に向けて当社としても貢献すべく、今回の資金調達により一層の事業基盤の強化を進めてまいります。



デジタル資産による新しい市場



より低コストに



より速く



より利用しやすく



流動性も供給



SBI
Digital Asset
Holdings
an *SBI* company

デジタル資産は、
2027年までに10兆ドルの
市場規模になると
予想されている

STO 資産 – 市場拡大への足掛かり

デジタル資産市場のヒートマップ（当社想定）

発行体規模	株式	債券	不動産	ゲーム	絵画
大規模	“上場株式” ・ 過当競争 ・ 流動性は高い	“流動性の高い債券” ・ 過当競争 ・ 流動性は高い	“REIT/ 個人投資家” ・ 確立された市場だが、非効率で仲介手数料が高い	ゲームの暗号資産取引 巨大なゲーム市場の中における新しい市場機会	“絵画投資” ・ 法人や個人富裕層に限定されている ・ デイラー・収集家・美術館のための運転資金
中規模	“プライベートキャピタル” ・ 付加価値のある PE/VC / エンゼル投資 ・ IPO前 ・ 流動性が低いため、スプレッドは広く仲介手数料も高い	“私募債／地方社債” ・ 地方債・中規模社債・CP ・ 従来型銀行融資・売掛債権 ・ 未発達、ないし高い仲介コスト	“個人不動産投資” ・ 銀行や不動産業者による寡占 ・ 高い仲介手数料		“絵画投資” ・ 芸術家による、作品の直接販売の市場の提供 ・ デイラー・収集家・美術館のための運転資金
小規模	“クラウドファンディング”	“銀行融資／マイクロレンディング”	“住宅・不動産ローン”		“芸術家のクラウドファンディング”

ターゲット市場

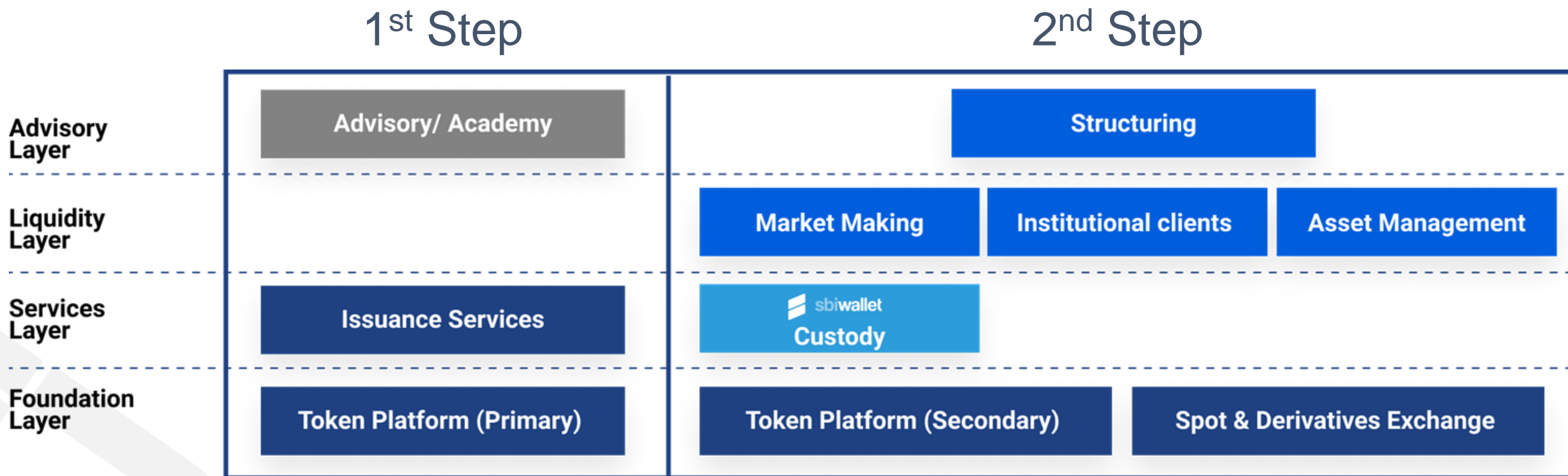
高信用リスク

過当競争

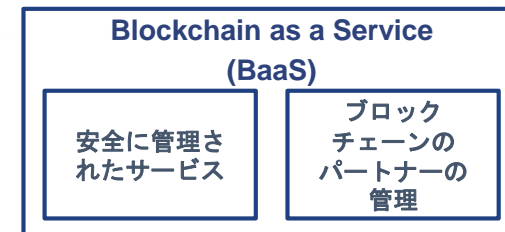
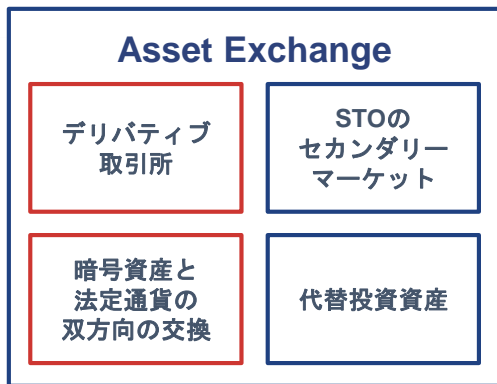
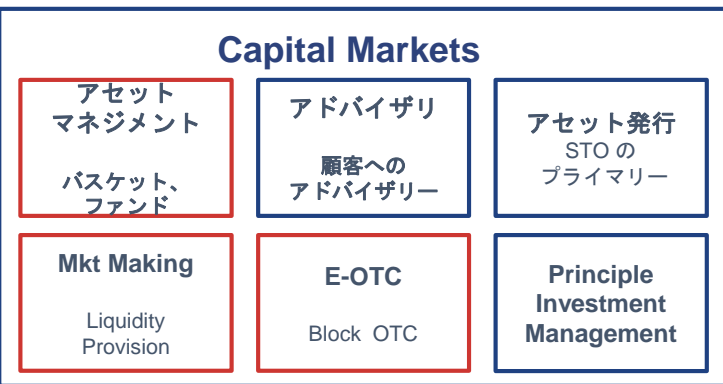
非効率・未発達

未開の“Blue Ocean”

4つの層で構築されたデジタル資産市場エコシステム



提供サービス



従来の金融サービス分野で培ったSBIグループの信頼を活用し、機関投資家の市場にサービスを提供するための、デジタルエコシステムを提供

In-house development Strategic Partnerships

SBIグローバルデジタルアセット生態系のビジョン



顧客のニーズに柔軟に対応できるプラットフォームの構築

商品の多様性:

- 公債、社債、私募債、仕組債
- ファンド
- オルタナティブ投資:
 - 絵画
 - ワイン

提携企業の多様性:



シンガポールでJVを設立し、アジアマーケットを支える



米国において発行実績あり



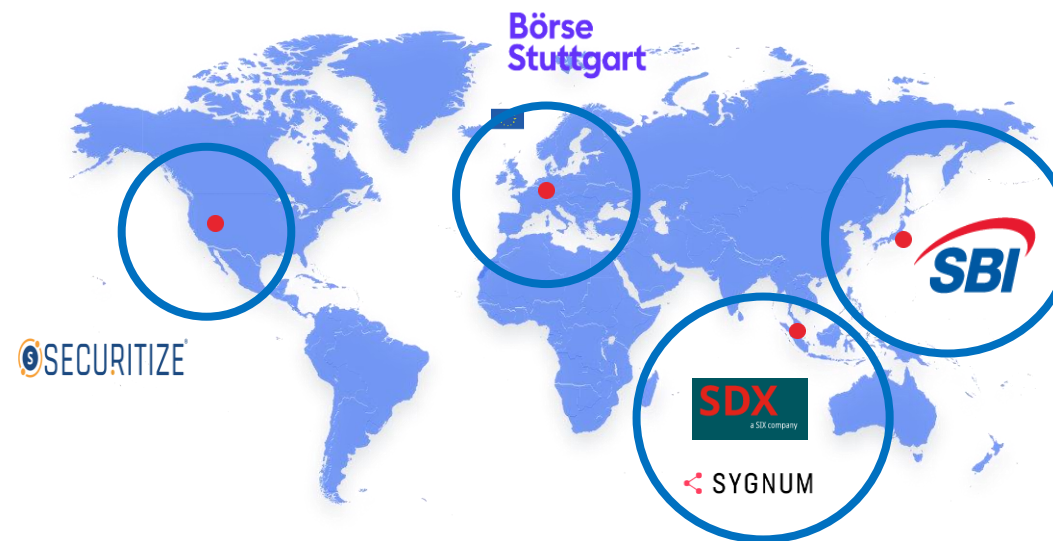
銀行免許も保有するソリューション



欧州のリテール向け戦略



Copyright 2020 - All rights reserved - SBI Digital Assets Holdings Inc.



業務提携先の技術を生かし、商品毎の固有ニーズに柔軟に対応



SBI / SDX 合同会社

評判、技術、戦略的シナジーが高くデジタル業界で信頼を得ることが
できる金融機関としてシンガポールに**合併会社**を設立



SDX

GOAL

- 合併会社を介した発行、取引、保管、暗号資産取引等を提供するデジタル資産の認可（予定）プラットフォームをSDX（SIX Digital Exchange）とSBIでシンガポールにて確立
- この合併会社はSBI Digital Asset Holdingsのエコシステムのコアとなる
- シンガポールをAPAC（日本を除く）デジタル資産のハブとして設立した後、スイス・ヨーロッパのエコシステムや、将来的にSBIグループが計画中的大阪のPTSとの接続も計画している

BUILD

- SDXとSBIの合併会社に基く所有構造
- SDXとSBI DAH双方のノウハウ、テクノロジー（IP）及びマーケットへの強みを活用し相乗効果を生み出す
- SDXは取引インフラストラクチャーのコア要素を提供
- SBIは独自開発の**sbiwallet**ソリューションを提供
- 設立後、合併会社はシンガポール政府によるCMS（Capital Markets Services）、RMO（Recognized Market Operator）の認可を申請予定

SDX - Project Helvetia (PoC Complete) <https://www.bis.org/publ/othp35.pdf>

概要

- PoC1 : CBDCトークンを使ったDvP
- PoC2 : 既存のRTGSを使ったDvP

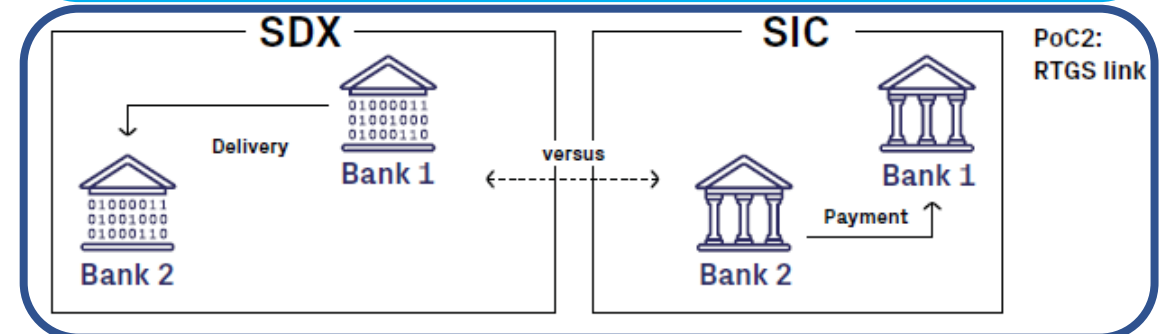
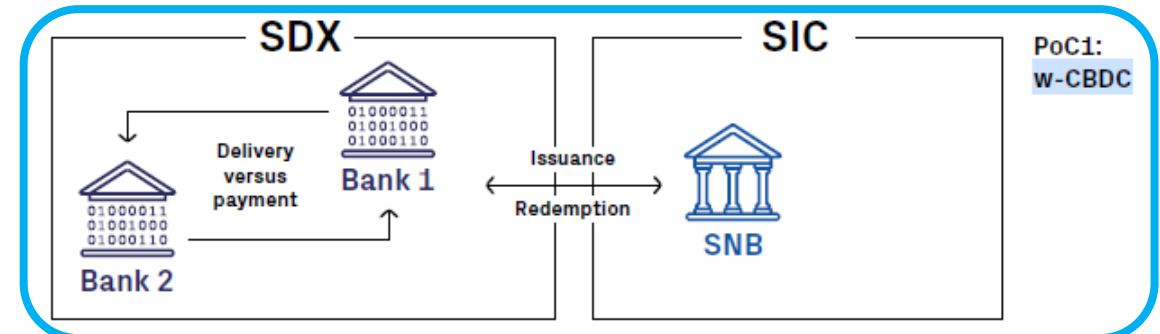
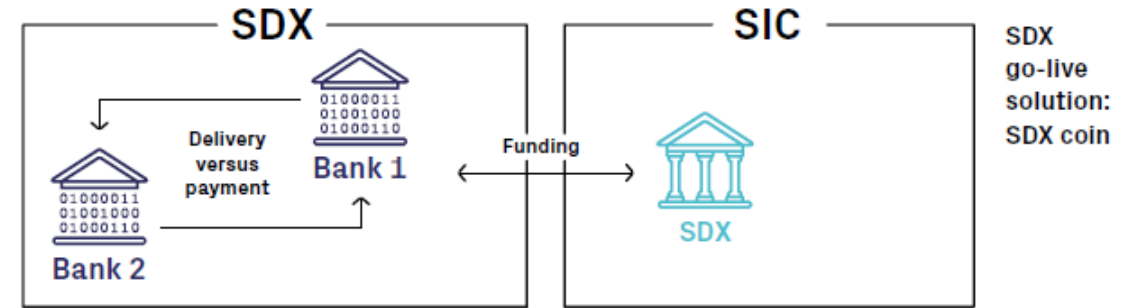
参加者

- SIX / SNB - スイス国立銀行 / BISイノベーションハブ**

ユースケース、機能、観点

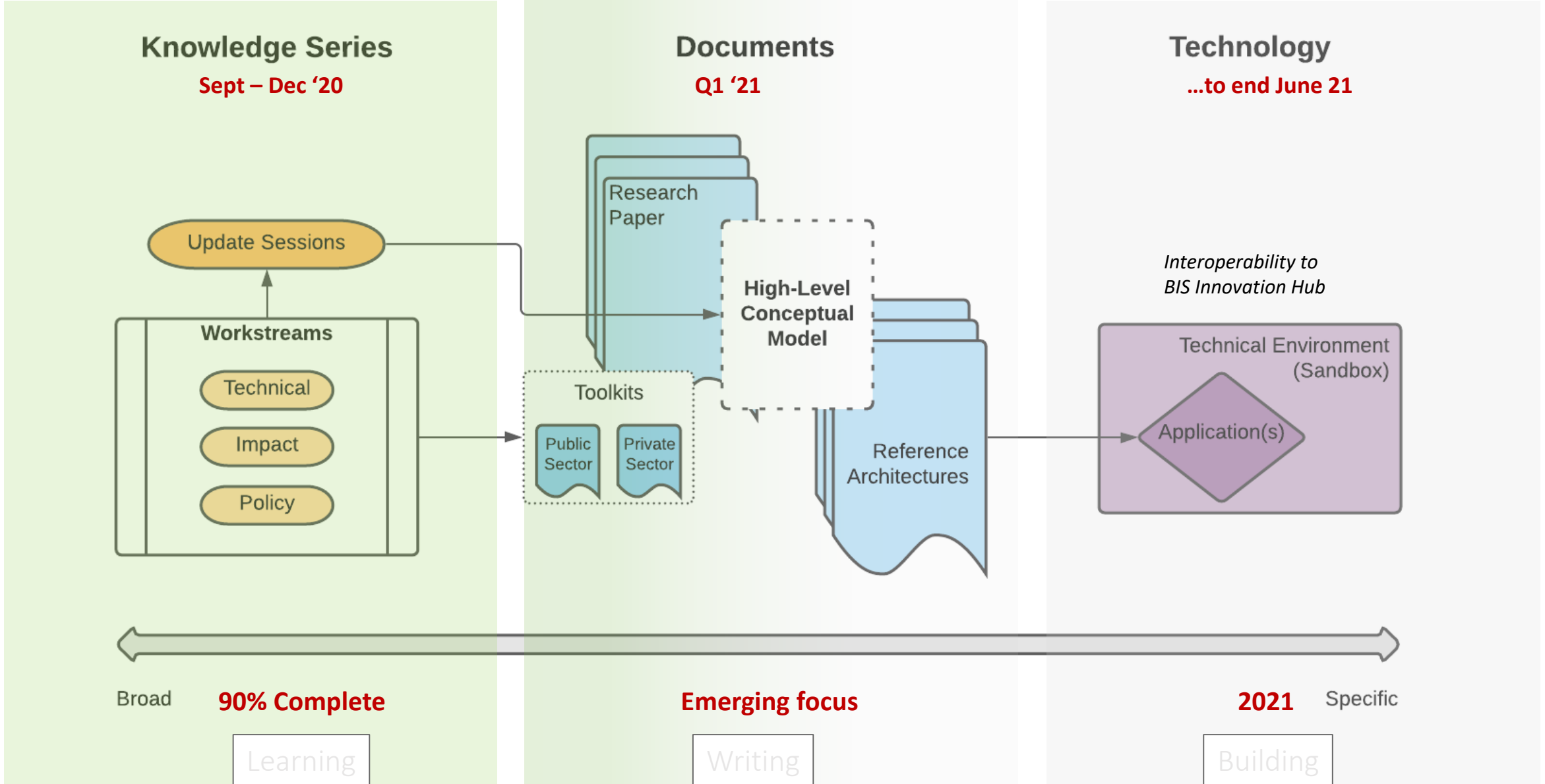
- CBDCトークン発行 / 償還 / DvP決済 / 送金
(PoC2のユースケースはDvP決済のみ)
- 中銀BSのRTGSとCBDCとの同一性
- BoD、リコンサイル、取引処理等一連の機能検証
- 法令上の整合性・安定性確認
(Next Step)

実運用に対する課題の洗い出し / 国外の巻き込み



SDX: SIX Digital Exchange, SIC: Swiss Interbank Clearing

R3 CBDC Working Group Timeline + Progress



'The CBDC Pavilion'

Design Choices Informed by the Reference Architectures

Design Choices



The features relevant to a **Wholesale** CBDC implementation.

Wholesale

General Purpose

The features **Retail** CBDC implementation.

The **Feature Plain** will provide a common language for understanding design options.

Common Features

CBDC Feature Plain

Common Features supporting both Wholesale and Retail

What responsibilities are **Central Banks** given by their governments?

Central Bank Responsibilities

Private Sector Considerations

Why and how will the **Private Sector** engage with CBDCs?

Money Taxonomy: classification for CBDC

Use Cases: relevant applications for CBDC

Governing Principles

Objectives: motivations for issuing CBDC

Enabling infrastructure

Foundation Enablers

*Strategic
Business
Innovator*



Thank You